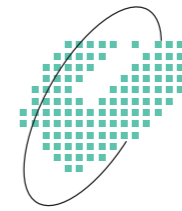




▲ 立山連峰 (撮影：広報委員 濱 一男)



確かなものを 地球と未来に 日建連



特集1 — けんせつフェア北陸 in 富山2019

特集2 — 建設技術報告会

特集3 — 親子工事見学会・市民現場見学会

67 2020.2



会員各社名

アイサワ工業(株)	オリエンタル白石(株)	大成ロテック(株)	東洋建設(株)	(株)北都組
青木あすなる建設(株)	(株)加賀田組	大日本土木(株)	戸田建設(株)	(株)本間組
あおみ建設(株)	鹿島建設(株)	大豊建設(株)	飛鳥建設(株)	前田建設工業(株)
(株)安藤・間	(株)熊谷組	(株)竹中土木	西松建設(株)	(株)丸山工務所
石黒建設(株)	五洋建設(株)	田辺建設(株)	日特建設(株)	三井住友建設(株)
岩田地崎建設(株)	佐藤工業(株)	鉄建建設(株)	日本国土開発(株)	みらい建設工業(株)
(株)植木組	清水建設(株)	東亜建設工業(株)	(株)福田組	名工建設(株)
(株)大林組	(株)銭高組	東急建設(株)	(株)フジタ	りんかい日産建設(株)
(株)大本組	第一建設工業(株)	東鉄工業(株)	(株)不動テトラ	若築建設(株)
(株)奥村組	大成建設(株)			



67 2020.2

発行 一般社団法人 日本建設業連合会 北陸支部 広報委員会
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1(興和ビル7F) TEL(025)285-8886

印刷 新潟中央印刷

2020.2.15 発行



一般社団法人 日本建設業連合会 北陸支部



「建設業の進化に向けて」

(株)福田組
代表取締役社長
荒明 正紀
Masanori Araaki



2015年3月に、日建連が2025年までにたくましい建設業を再生するための道筋として、我が国建設業全般を対象とする建設業の長期ビジョン「再生と進化に向けて」を公表して以来、早5年の年月がたとうとしています。我々は、そのビジョンに基づき「担い手の確保・育成」や「生産性の向上」などの課題に対し、業界全体として継続的に取り組み、一歩ずつではありますが、着実な変化を実感しております。一方で、この5年間で世の中も大きく変わり、今、国全体が更に働き方を大きく変えなければならない時代になりました。

我々が進めてきた課題への取り組み方も、時代の変化に伴い、ますます「働き方改革」と並行して進めなければ社会では受け入れられないものへと変わってきています。

「働き方改革」を進めるには建設業特有の障壁が多くありますが、全産業が改革に取り組んでいるこの時をチャンスと捉え、長年の固定観念に縛られた習慣を変えていく努力を継続して行かなければなりません。

また、近年、頻発している自然災害は、我々が過去に経験してきたことや想定した範囲をはるかに超える規模のものであり、甚大な被害を全国各地に及ぼしています。防災・減災対策などの国土強靱化の施設整備や被災地の迅速な復旧・復興に対する支援は、我々の大きな責務の一つですが、昨今の被災地の大変なご

苦勞を見ますと、改めて災害発生時の被災者支援から、応急復旧、本格復旧、復興などの一連の災害対応に一貫して取り組む「応災」が大切な責務であることを感じています。

これから、更に社会インフラの老朽化が進む中で、人の命や地域の暮らしを守る国土づくりの担い手としての建設業の責務は、更に重要なものとなっていきます。その責務を果たし続けるためには、安全面における労働災害、公衆災害等の発生やコンプライアンス違反など社会からの信頼・信用の失墜につながるものの無い、魅力のある、そして社会から信頼される産業であることが不可欠です。

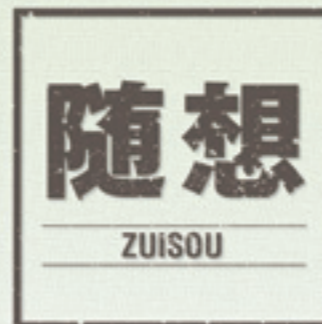
振り返ると昭和・平成と建設業も大きく変化を遂げてきました。令和の時代も変化を止めることなく、更に進化へと繋げて行くことが、今の時代を建設業で生きる我々の使命であると思います。

「進化」していくための奇策は無く、簡単なことではありませんが、建設業の未来に向けて、我々と共に働く次世代のためにも、各社、協力会社が働き甲斐のある、健全な会社であり続けるために、愚直な努力を積み重ねていきましょう。



「地域に貢献する高速道路」

東日本高速道路(株)
執行役員新潟支社長
鈴木 啓之
Hiroyuki Suzuki



「令和」の世となり初めての冬を迎え、北陸支部の会員の皆様におかれましても益々ご健勝のことと思います。自身を顧みれば、久々の新潟勤務にあつて、二度目の冬を迎えたところでありますが、多彩で豊かな海の幸、山の幸、美味しいお酒を堪能しております。

初めての新潟勤務は「平成」に入って数年後、日本道路公団新潟建設局において、総務部門の担当者として、関越道、北陸道という大動脈を山形、福島、長野に繋げていくための建設工事の最盛期を経験いたしました。その頃の新潟県の高速道路延長は約300kmでしたが、現在はNEXCO東日本新潟支社として約430kmの高速道路を管理しております。その間に発生した中越地震や中越沖地震、そして東日本大震災では、当時、工事を進めていた日東道、磐越道、上信越道等が災害支援、物流支援、その後の復興に向けた正に命の道としての役割を果たすことができました。建設当時にご協力いただいた地域の皆さまはもとより、会員の皆様には感謝の念を禁じ得ません。

さて、NEXCO東日本グループでは、24時間365日、安全・安心・快適・便利な高速道路を地域の皆さまが活用できるよう真摯に取り組んでおります。新潟支社が管理する高速道路ネットワークは概成しておりますが、気候変化が極端化していくなかで、北陸地域特有の雪害をはじめとする様々な災害に強く、国土

強靱化に資する高速道路として、リニューアルプロジェクト(大規模更新・修繕事業)や4車線化事業、ICTを活用した除雪対策の高度化などにも注力していく必要があると考えております。

また、新潟地域は、日本遺産として認定された北前船文化に象徴されるように、古くより日本海側における北陸・東北地域のハブとして発展してきました。近代に入って鉄道、道路、空港が順次整備され、「昭和」の終わりには新幹線、高速道路といった高速輸送の時代となりました。高速道路を線と見て個々の機能強化を進めるだけでなく、国や自治体管理の道路と連携し、強い道路ネットワークを提供していくことはもとより、鉄道や空港、港湾など様々なモードの事業者と連携し、強い国土を作り上げていく必要があります。当支社としても、その一員として、引き続き地域に貢献して参りたいと考えております。

一方、当支社では「地域に愛され、地域の発展に貢献する企業像の実現に向けて、「つなぐ」価値の創造を合言葉に、高速道路本体に係る建設・管理だけでなく、様々な取組みを進めております。

高速道路料金の企画割引では、「新潟観光ドライブパス」を発売、新潟県内全域、長野県北信濃エリア、福島県会津エリアが乗り降り自由の「新潟・北信濃・会津周遊プラン」、関東方面や北陸方面からの1往復+新潟県内乗り降り自由がセットになった「新潟周遊プラン」の他、訪日外国人をはじめ、レンタカーで新潟を観光される方がご利用しやすい「レンタカー限定コース」を新たに設定したところ。現在は、ゲレンデまでの高速料金がお得になる「ウィンターパス2020」を販売中です。このほかにも、開通から30年を超え、北陸地域と関東地域をつなぐ関越トンネルのインフラツーリズムや、高速道路を活用して各地から応援に参加いただいている「アルビレックス新潟」への協賛なども行っています。

最後になりますが、NEXCO東日本は、「国土強靱化」や「働き方改革」、「生産性向上」という大きな課題の一つ一つ向き合いながら、地域に貢献する集団として、地域とともに取組み成長していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



67 CONTENTS

- 1 VISION
「建設業の進化に向けて」
- 2 随想
「地域に貢献する高速道路」
- 3 特集①
けんせつフェア北陸 in 富山2019
- 6 特集②
建設技術報告会
- 8 特集③
親子工事見学会・市民現場見学会
- 12 私のプライベートタイム
「初めての新潟」
- 13 現場で輝くけんせつ小町
「素敵な3K
(けんせつ小町が、かつやくし
きぼうが持てる)のために」
- 14 エッセイ
よりなれ えちご『新潟女将の会』
- 15 ゆうたいむす
●「幸福に生きる～光輝幸齢者を目指して!」
●「リリーフさんって警備会社だったの!」
●「東京から新潟へ…」
●「伝統工芸を今に」
- 17 事務局だより

表紙の写真：市野新田ダム(灌漑ダム)
2012.4 着工/2019.9 竣工
発注者：北陸農政局
施工者：(株)フジタ

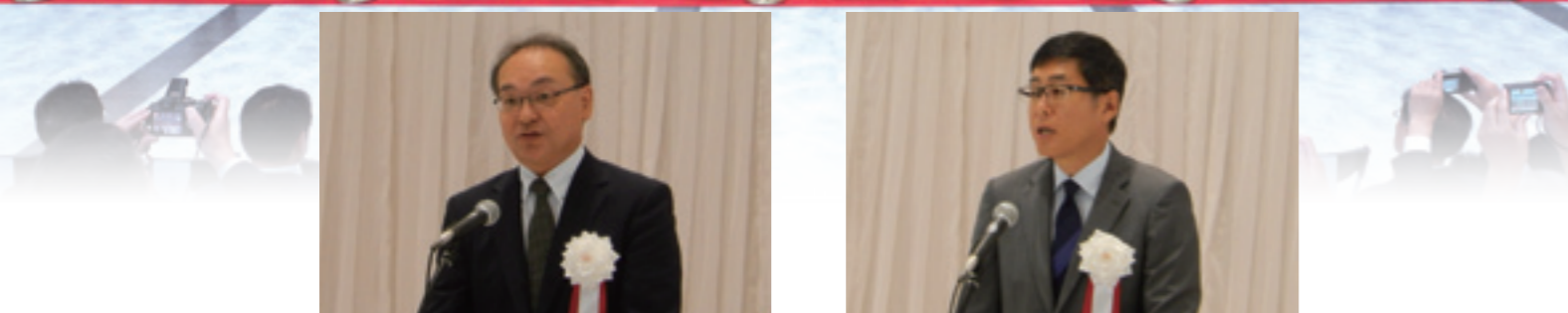
みて、ふれて、知る 新技術・新工法 けんせつフェア北陸 in 富山2019

～ 次世代へ、イノベーションをもたらす建設技術 ～

■ 開催日 / 令和元年10月2日(水)・3日(木) ■ 会場 / 富山市産業展示館(テクノホール)



(テープカット)



(開会挨拶) 吉岡 北陸地方整備局長

(実行委員長挨拶) 内藤 企画部長

開催報告

「けんせつフェア北陸in富山2019」が、10月2日(水)、3日(木)の2日間にわたり、富山市産業展示館(テクノホール)で開催されました。

本フェアは、国土交通省北陸地方整備局をはじめ新潟県、富山県、石川県、新潟市、東日本高速道路(株)新潟支社、中日本高速道路(株)金沢支社、日建連北陸支部他の建設業団体で構成する実行委員会が主催し、14回目の開催となる今回は、「安全・安心」、「自然・文化」、「連携・活力」をテーマに151機関から355の技術展示が行われたほか、47の団体・企業によるプレゼンテーションも行われました。

日建連北陸支部からは、18社46技術について展示があり、2日間で約4,600人(「担い手確保」の広報の一環として、富山・石川県内の大学、専門学校、高校など13校(約700名)の学生招待を含む)の方々に、各社保有の新技術や新工法を含む建設技術を「みて、ふれて、知って」頂くことができました。

けんせつフェアの開催目的

建設事業については、国際競争力の強化・少子高齢化社会・環境への対応といった課題に対応しながらも、地域住民の理解と協力のもと、既存社会資本の有効活用、技術開発などによるコストの大幅縮減なども併せて行うことにより、安心で暮らしやすい社会の実現や美しい国づくりなどを目指して一層の推進が求められています。

近年、相次ぐ災害により国土強靱化対策が計画され、また、インフラの維持管理の認識が高まるなど建設事業への注目が高まっています。国土交通省としては、人口減少社会を迎え、社会のあらゆる生産性を向上させることで経済成長を実現するため、総力を挙げて生産性革命に取り組んでおり、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現するべく、「i-Construction」の取り組みを推し進めるとともに、次世代へ向けてイノベーションをもたらす革新的技術の導入・活用にチャレンジしています。

「けんせつフェア北陸 in 富山2019」は、産・学・官の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場とし、建設技術の一層の高度化や広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術・新工法の積極的な活用促進や建設技術を通じての地域づくり、担い手確保の広報を目的に開催するものです。

テーマ

サブタイトル: 「みて、ふれて、知る 新技術・新工法」
キャッチフレーズ: 「次世代へ、イノベーションをもたらす建設技術」

■ 日建連北陸支部会員会社からの出展状況

会社名	出展テーマ			出展技術名
	安全・安心	連携・活力	自然・文化	
青木あすなろ建設(株)	○			摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法 無人化施工
あおみ建設(株)	○	○		Re-Pier工法(※施設を供用しながら既設橋の耐震補強や増深化を図る工法) 水底土砂ポンプ浚渫工法 KS-EGG工法(無振動低騒音式地盤改良工法) KS-S-MIX(大口径相対攪拌深層混合処理)工法
(株)安藤・間	○	○		CIMモデルを効果的に用いたフロントローディング 切羽安定度予測システム「TFS-learning」
(株)大林組	○	○		誰でも簡単!測量アプリ「スマホdeサーベイ」 作業員接触防止システム「クアトロアイズ」 次世代高速通信「5G」を用いた重機の遠隔操作 ニューロクリートneo(※ひび割れ発生リスクを低減できる低セメント量の高流動コンクリート)
(株)加賀田組	○			H形鋼を用いたRC複合門形ラーメン橋
鹿島建設(株)		○		A4CSEL®(クワッドアクセル) (※タブレット端末で複数の建設機械に作業計画を指示して、無人で自動運転を行う技術)
五洋建設(株)		○		SEP型多目的起重機船CP-8001
佐藤工業(株)	○	○		レーザースキャナによるトンネル施工管理 マルチ打音法システム(※AIと物理的判定手法を用いた打音法によるコンクリート診断方法)
清水建設(株)		○		シミズスマートトンネル (※ICT、IoT、AIなどの最新技術を活用した次世代型トンネル構築システム) インバート掘削管理システムSP-MAPS 清水建設のCIMの取り組み ダムコンクリート自動打設システム
大成建設(株)	○			大成建設のi-Construction推進技術
鉄建建設(株)	○			ヒートパイプクーリング工法(温度ひび割れ抑制) HEP&JES工法(アンダーパス工法) 超低空頭場所打ち杭工法(リバース工法)
東亜建設工業(株)		○		航行(運行)支援システム「ARナビ」 SEP(自己昇降式作業台船)
東洋建設(株)	○	○		函ナビ-Auto(※ケーソン自動制御掘付システム) 保有作業船の紹介
日特建設(株)	○			ニューレスブ工法 (※老朽化した吹付のり面をはつきり取らずに補修・補強、産廃縮減・工期短縮等を実現する技術) Grout Conductor (※薬注の流量計・ポンプを最大8セット制御し、3Dで表示し、色や大きさで表現する技術) New スリープ注入工法 (※新型の注入パイプを採用し、長い注入区間に、より高速で高品質な地盤改良を実現する技術) GIコラム工法(※大口径、大深度の深層混合処理パイルを小型軽量機で施工する技術)
(株)不動テトラ	○			FTJ工法(※大断面の改良体の造成、高速な施工が可能な高圧噴射攪拌工法) CI-CMC-HA工法 (※コスト工期の縮減、周辺変位影響の低減、貫入能力の向上を実現した深層混合処理工法) Visios-3D (※地盤改良の施工状況をアニメーション表示して可視化したリアルタイム施工管理システム) テトラネオ(※安定性、構造強度、環境への親和性を高め、低廉な施工費を実現したブロック) ベルメックス (※抜群の安定性と優れた経済性に加え、多様な生物の生息環境創出にも寄与するブロック) 没水型港内長周期波対策構造物 ICTの導入による設計・施工の効率化
(株)本間組	○	○		港湾工事における情報化施工技術 作業船の低周波騒音対策技術
前田建設工業(株)		○		山岳トンネル施工における最新技術
若築建設(株)	○			ケーソン無人化掘付支援システム ローカル型作業船運航管理システム グラブ浚渫船「若鷲丸」

令和元年度「建設技術報告会」

■開催日／令和元年10月2日(水)・3日(木) ■会場／富山産業展示館(テクノホール)

■出展数 集計表

区分	出展数
総数	151
官公庁	6
NEXCO東日本・中日本	5
学校	4
協賛	3
民間(主催加盟)	74
民間(単独出展)	59

■各項目別集計

出展技術	出展数
「安全・安心」	270
「連携・活力」	62
「自然・文化」	21
「安全・安心」「連携・活力」	2

〈日建連会員各社ブース状況〉



〈出展技術プレゼンテーション状況〉



令和元年10月2日(水)、3日(木)の2日間 富山産業展示館(テクノホール)において、北陸地方建設技術推進協議会主催による「令和元年度 建設技術報告会」が開催されました。

本報告会は北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的とし、平成7年度から開催され、今回で24回目の開催となります。

第1部として、北陸地方整備局の内藤企画部長より開会のご挨拶を戴いた後、JAXAの富井直弥技術領域主幹による「宇宙からのインフラ調査点検」についての基調講演を拝聴しました。

第2部から第4部の技術報告では、日建連北陸支部会員各社からも、技術論文のプレゼンテーション発表を行い、北陸地域で有効活用できる技術であることをアピールする場となりました。併設したパネル展示コーナーやNETIS技術パンフレット配布コーナーにも、大勢の方が立ち寄りいただき、盛況のうちに閉会となりました。



【技術報告を行った日建連北陸支部会員会社と報告内容】

会社名	テーマ区分	報告内容
前田建設工業(株)	①	トンネル鋼製支保工建込みロボット
清水建設(株)	①	IoTを活用した新しい山岳トンネル施工管理手法
大成建設(株)	①	山岳トンネル工事の安全および効率的な施工を支援する新技術
あおみ建設(株)	⑤	水底土砂ポンプ浚渫工法
(株)不動テトラ	④	CI-CMC-HA工法
若築建設(株)	①	ケーソン無人化据付支援システム
(株)大林組	①	低セメント量の高流動コンクリート「ニューロクリートNeo」
(株)フジタ	①	重機搭載レーザー計測システム
日特建設(株)	①	地盤改良工法のデジタル化・見える化技術 薬液注入「Grout Conductor」
東亜建設工業(株)	①	航行支援システム「ARナビ」

報告テーマ分類 ①「良いものを安く(i-Construction)」 ②「社会資本の的確な維持管理・更新」 ③「雪に強い地域づくり」
④「自然災害からの安全確保」 ⑤「環境の保全と創造」 ⑥「その他」

〈全景〉

〈受付風景〉



〈報告・質問状況〉

〈NETISパネル展示コーナー状況〉



親子工事見学会・市民現場見学会

小学生を対象とした「親子工事見学会」を開催

令和元年7月、(公社)土木学会関東支部新潟会および(一社)日本建設業連合会北陸支部の共催による「親子工事見学会」が、《長岡班》と《新潟班》の2班に分け行われました。

長岡班	開催日	令和元年7月29日(月)	
	見学先 (2箇所)	鶴川ダム本体建設工事 発注者：新潟県 施工者：前田・東急・植木特定共同企業体	国道8号柏崎トンネル(山岳部)工事 発注者：北陸地方整備局(長岡国道事務所) 施工者：安藤ハザマ・植木特定共同企業体

鶴川ダム本体建設工事



国道8号柏崎トンネル(山岳部)工事



当日は小学生の児童たちと保護者の方々が17名参加され、猛暑にもかかわらず、現場を興味深く見学する姿が見られました。

鶴川ダムの見学では、ダムの本体工事を一望できる展望エリアから作業状況を見学し、測量等で使用しているドローンを用い、皆さんと記念撮影を行いました。また、土捨て場エリアでは、工事で実際に使用している重ダンプやブルドーザーなどに試乗し、皆さん大喜びでした。

柏崎トンネルの見学では、トンネル工事の流れを実際の施工映像を見ながら説明を受けました。大変分かりやすく、子供たちも真剣に耳を傾けていました。また、保護者の方々からは施工中のトンネルの中を見学でき貴重な体験ができたとの声も聞かれました。

見学会後のアンケートでは、大半の方々に「今後も当見学会に参加したい」、「ダムやトンネル工事で作業している人は苦勞してすごいと思った」、「5Sと掲げていたように現場全体がきれいで安全に配慮されていた(保護者)」等の声が聞かれました。

また、「将来に建設関係の職業を選びたい(児童)」、「選んでもらいたい(保護者)」の声が年々増加してきたことについても、意義のある見学会だったのではないのでしょうか。

最後にご多忙の中、見学会にご協力頂きました新潟県様、北陸地方整備局様をはじめ、施工者関係の皆様、大変有難うございました。

学生を対象とした「市民現場見学会」を開催

石川・富山地区 令和元年7月、日本建設業連合会北陸支部主催の市民現場見学会(石川・富山地区)を開催しました。今回は金沢大学地球社会基盤学類の1年生35名の参加を頂きました。(引率支部メンバー4名、合計39名)

開催日	令和元年7月22日(月)	
見学先	H29-32金沢東環月浦トンネル工事 発注者：北陸地方整備局 施工者：株式会社 大林組	梯川橋りょう他工事 発注者：独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構大阪支社 施工者：鉄建・りんかい日産・北都・高田 特定建設工事共同企業体

開催日	令和元年7月30日(火)	
見学先 (2箇所)	新潟駅付近連続立体交差事業 発注者：JR東日本	坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事 発注者：新潟市 施工者：西松・植木・池井・田村 特定共同企業体

新潟駅付近連続立体交差事業



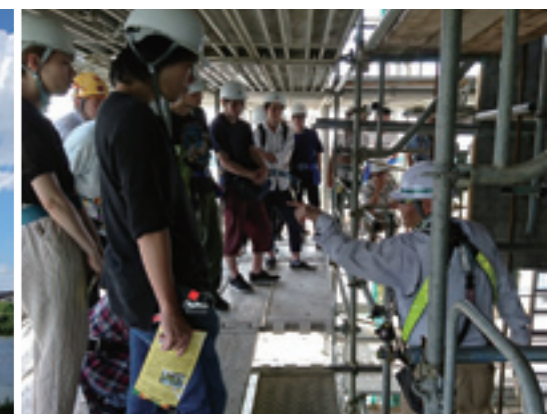
H29-32金沢東環月浦トンネル工事



坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事



梯川橋りょう他工事



当日は、夏休み中ということもあり、小学生の児童たちと保護者の方々が多く参加されました(計43名)。暑い中、児童たちは、汗を拭いながら興味深々に現場を見学していました。

新潟駅の工事では、在来線と新幹線の同一高架ホームを見学し、その便利さを体験しました。また、駅高架化の事業全体について説明を聞き、児童や保護者の方から便利になるのが楽しみといった意見も聞かれました。

坂井輪雨水1号幹線下水道工事(シールド工事)では、発進立坑の中に入り、シールドトンネルの入口部を見学しました。このような地下深くに大きな長いトンネルを掘っていることに児童も保護者の方々も驚いていました。また、見学会に参加し、普段見ることのできない場所に入ることができ、親子で勉強できたとの意見もありました。

いずれの現場見学でも、子供たちからは、多くの質問があり、土木工事に興味を持ってもらえた様に思います。

見学会開催後のアンケートでは、大半の方々に「今後も当見学会があった方がよい」、「どちらの見学会も説明が丁寧で分かりやすく良かった(保護者)」等の声が聞かれました。

また、「今後見学先に選んでほしいところがありますか」という質問に対し、ダム、トンネル、鉄道といった回答が多く、今後の見学会の企画に役立てたいと思います。

最後にお忙しい中、当見学会にご協力頂きましたJR東日本様、新潟市様をはじめ、施工関係者の皆様、有意義な見学会となりました。誠に有難うございました。

今回の見学会は、日連連による「担い手確保・育成」活動の一環として、建設現場のやりがい・魅力の発信、実際の作業環境を肌で感じ、現場職員との会話を通じての建設現場で働くイメージの形成を目的として開催しました。

最初にトンネル工事の現場を訪問し、施工者の(株)大林組の対馬所長及び監理技術者の濱田工事長からトンネルの内外で工事の説明をして頂きました。

トンネル工事は、大学に近い場所で施工しており、当日は、トンネルの切羽まで行く事ができ、大型重機やNATM工法で掘り進められた巨大な支保工の内部空間に立ち入って詳しく説明を受けたことから、「真夏なのに換気設備が良くて意外だった」、「普段見られない段階の工事状況を見る事が出来、理解が深まった」などの声がありました。

次に橋りょう工事の現場を訪問し、鉄建建設JVの監理技術者である西島副所長から梯川中央部で施工中の足場の中などで橋りょう工事の説明をして頂きました。

橋りょう上部工工事では、PC片持箱桁橋の施工を目の当たりにし、ヤジロベエのように左右に徐々に出来ていく事への理解を深め近年の建設労働者不足対応としての外国人労働者を受け入れるJVの取組(安全に対する外国語での教育・DVD作成など)や熱中症対策として行っている休憩所で、かき氷配布を学生にも振る舞ってもらう等して「現場で想像以上に様々な取組を行っていることへの理解が深まった」との声もあり、担い手確保に向けての良いPRの場となりました。

最後に、見学会開催にご協力頂きました北陸地方整備局金沢河川国道事務所様ならびに施工関係者の皆様に深く感謝し、御礼申し上げます。

新潟地区

令和元年9月、(公社)土木学会関東支部新潟会および(一社)日本建設業連合会北陸支部の共催による「市民現場見学会(新潟)」を行いました。新潟大学および長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校の方々が多く参加して頂きました。(引率支部メンバー4名、合計56名)

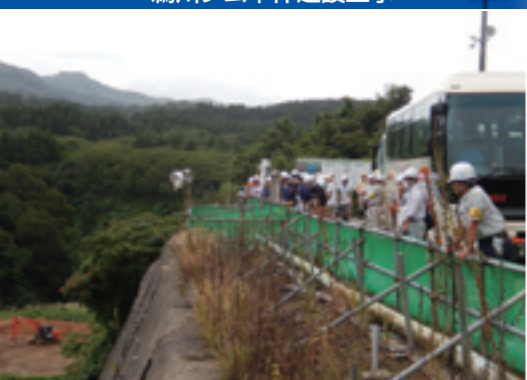
開催日 令和元年9月17日(火)

見学先	坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事	鵜川ダム本体建設工事
	発注者：新潟市 施工者：西松・植木・池井・田村 特定共同企業体	発注者：新潟県 施工者：前田・東急・植木特定共同企業体

坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事



鵜川ダム本体建設工事



当見学会は、学生の方々に、建設現場のやりがい、魅力を発信するとともに、実際に現場環境を肌で感じて頂き、建設業で働くイメージを作って頂くことを目的としています。

午前の部では「坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事」の現場を訪問しました。当エリアでは、集中豪雨などの大量の雨水が下水道に流れ込んだ際に、溢れた水で住宅、道路などが浸水被害を受けないため、雨水バイパス管を整備しています。見学会では、施工状況や使用機械の説明を受け、実際にシールド工事の発進立坑部に入り、総延長約2kmに及ぶ長大トンネルのスケールを感じてもらいました。

午後の部では「鵜川ダム本体建設工事」の現場を訪問しました。鵜川流域では、下流域の洪水被害の軽減、既得農業用水の安定化、河川環境保全等を目的にダム建設が行われています。ダムは、ロックフィル形式であり、本年度から本格的な盛り立てが行われており、見学会では、その盛り立て状況や使用する材料などの見学を行いました。普段見ることのできない大規模なダム建設現場を目の当たりにすることができ、学生たちにも興味を持って頂いたと思います。

見学会後、学生を対象としたアンケートを行いました。多くの学生に建設業界に対し興味を持っているとの回答を頂きましたが、更に「週休二日の確保」、「労働時間の改善」等を望まれる声が多くありました。

今後も「働き方改革」をはじめ、魅力ある建設業へ向けて、更なる注力が期待されます。

見学会にご協力頂きました新潟市様、新潟県様ならびに施工関係者の皆様、誠に有難うございました。

MY PRIVATE TIME

私のプライベートタイム



西松建設(株)
北陸支店
富田 正浩
Masahiro Tomita

「初めての新潟」

令和元年7月に新潟へ着任しました。初めての新潟・北陸勤務です。支店は、昭和30年1月に開設した新潟営業所を前身として、平成17年に新潟県域と北陸3県域を管轄とする支店となり、延べ65年となります。

新潟を車で走っていると風景が私の故郷である茨城にそっくりなことに気が付きました。田んぼが連なる広大な平野、新潟平野と関東平野(茨城ですが)の風景が似ているのです。そして、生家の田んぼで作っているコメはコシヒカリでした。

単身赴任ですので、可能な限り週末には、帰省しています。

大変なのは、子供達の付き添いです。試合の日は朝早くから車で会場に向かい、合宿は泊まり込みで一緒に活動します。これで、ウインブルドンにでも出てくれれば左団扇でしたが、世の中そんなに甘くはありません。一方、家内は毎日朝9時から夜の9時までご近所の奥様方とテニス三昧でした。まあ、それでも一家5人、テニスという共通の趣味が持てたことは良かったかなと今では思っています。



◆自治会テニス仲間と試合後の集合写真
毎年1回戦敗退です(上段の左から3番目)

テニスを始めて

今まで休みというと家族とのテニスでした。きっかけは家内が幼い子供3人を巻き込んで始めたためです。子供はジュニアクラブ、親は地元自治会の市内クラブに入会し、市内のコートで始めました。私も増えた体重を少しでも減らしたく、始めましたが、すぐに膝を痛めてしまいました。

温泉巡り

子供も大きくなり全員就職するとテニス活動も落ち着き、今では年1回の

温泉巡りが楽しみとなっています。年1回ですので、贅沢をしようと色々場所を探します。結局、伊豆が恒例となりましたが、今回は新潟勤務となりましたので、家族で寺泊温泉に泊まりカニを食べ、弥彦の紅葉を見に行きました。霧囲気があって素晴らしいものでした。仕事柄、大河津分水路も見ました。



◆弥彦公園
もみじ谷にて紅葉は4分程度でした

おわりに

新潟・北陸に来て1年も経っていませんが、周りの皆さんに教えていただきながら、仕事もプライベートも楽しみが増えてきています。新潟・北陸の方々の温かい気持ちと美味しい食事とお酒とともに日々を過ごしています。

現場で輝く
けんせつ小町



「けんせつ小町」は建設業で働くすべての女性の愛称です。建設現場で働く技術者・技能者、土木構造物や建物の設計者、研究所で新技術を開発する研究者、お客様とプロジェクトを進める営業担当者、会社の運営を支える事務職など、活躍の舞台は多岐にわたります。

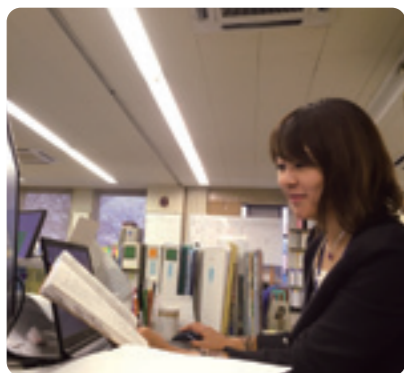
「素敵な3K (けんせつ小町が・かつやくし・きぼうが持てる)のために」

Q. 建設業を目指したきっかけ

A. 私が建設業を志したのは、小さい頃に上越新幹線で新潟県と群馬県の県境にあるトンネルを通過した時のことでした。トンネルのおかげで山を隔てた土地を行き来できることに感銘を受けました。当時Windows95のパソコンでトンネルを造る材料であるセメントや骨材について調べているうちに、コンクリート構造物に興味を湧き、土木構造物を造る建設業を志すようになりました。

Q. 現在の業務とやりがい

A. 入社後、本社でシールドトンネルの設計に携わった後、現在の部署に配属されてからは、現場の設計支援に携わっています。現場における設計対象となるのは、土留め、支保工といった仮設構造物が中心です。私はそれらの構造計算のチェックを行い、条件は適切か、合理的な設計ができているか、また現場で安全に施工できるかなどを検討し、必要に応じて現場へのアドバイスをしています。部署内で設計の経験がある人は少ないため、重宝され、やりがいを感じます。



仕事の様子

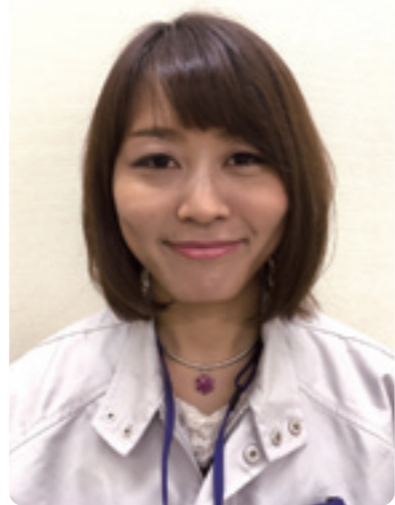
Q. 建設業界全体に対する思い

A. 昨今、建設業も働き方改革に迫られており、自分には何ができるかを考えるようになりました。従来の仕事をやるだけでは成果も少なくなってしまう。本当に生産性向上を望むならば同じ仕事を短時間でこなす方法や手間が少ない方法を各々が考え、実行すべきだと考えています。

Q. 未来のけんせつ小町への思い

A. 年々建設業で活躍する女性が増加しているようです。置かれた状況は様々だと思いますが、一人一人がロールモデルであり、建設業を目指している後輩の皆さんも色々な先輩の働き方を参考にしてほしいと思います。

建設業で活躍する女性の愛称が「けんせつ小町」に決まりましたが、素敵



大成建設(株)北信越支店
土木部技術室

立石 優希

Yuki Tateishi

今回は、大成建設(株)北信越支店に勤務され土木部技術室で現場の設計支援や積算業務に携わっている立石優希さんをご紹介します。

な名称ですね。「小町」からは女性のスマートさが感じられました。

ゆくゆくはどの現場にも女性技術者が配置され、それが普通のこととなるよう、継続的な努力が必要だと思います。



旧木山川排水機場

新潟女将の会(以後、当会)は、新潟県旅館ホテル組合(以後、親会)の任意団体で、会員数は約120名おります。

県内の温泉組合から女性役員が選ばれ、幹事役員21名、監事3名により、親会を事務局として運営しております。

このように県単位で旅館の女将がまとまっているのは、全国でも珍しい事です。

成り立ちは、新潟県中越地震(2004/10)の際、風評被害で全くお客様が来なくなり、危機感の高まりから立ち上がった訳です。

新潟県中越沖地震(2007/7)で、さらに強い結束力と信頼関係が生まれました。

独自の事業として、4月下旬、チュー

リップの花摘み(各自持ち帰り、ディスプレイに利用)の他、研修旅行、新年会、スイーツ講習会等をやっております。

後は、親会のイベント協力、新春観光の集いを始め、首都圏観光交流会、旅行会社や新聞社訪問、時にラジオ収録、日中友好のイベント等に参加しております。

数多い行事は幹事が手分けして、新潟県観光振興の為になればと頑張っております。

新潟県は、南北に長いので、四季を長く楽しめ、温泉は泉質も違い、十分県内で楽しんでいただけます。

日本海美食旅(うまさざっしり新潟)海の幸、山の幸、お米は日本一、お酒は淡

麗辛口で日本食に適しており、各酒蔵が工夫を凝らして洋食に合うお酒も作っております。

怖いもの知らず?の女将会が一生懸命観光PRをして行きますので宜しくお願い致します。

少し、自己PR。当館は県内最古の「雪国の宿高半」という旅館です。温泉を発見してから九百余年、尽きる事なく源泉をそのまま湯舟に入れております。温泉業界では奇跡の42℃~43℃を保って、ph9.6でございます。

一度入ると美人になり、二度入ると子宝に恵まれる、と昔から言い伝えられて来ました。

是非、お越し下さいませ。



エッセイ ESSAY



よりなれ えちご『新潟女将の会』



雪国の宿 高半
高橋 はるみ
Harumi Takahashi



「幸福に生きる～光輝幸齢者を目指して!」



(一社)新潟県労働衛生医学協会
専務理事
大西 金吾 Kingo Onishi
(新潟医療福祉大学客員教授)

100歳以上の統計が始まった時の国民は、1961年(昭和36年)153人から2019年の最新統計では71,274人に急速に増加しました。巷では「昔ある所にお爺さんとお婆さんがいました、今は有りとあらゆる所にいます。さらに悲しい言葉ですが昔は親孝行したい時には親はなし、現在は親孝行したくないのに親がいる」厳しい現実を迎えています。

100歳時代はそこまで来ていますが健康でなければ意味がありません。私は講演活動で人が幸せに生きるための5条件を紹介しています。読者の皆様もご参考にして頂き健康寿命を目指して下さい。

1. 最初は何といても**心と身体**の健康です。心の健康は柔軟力があり大きな不安を抱え込まないことです。身体は汗ばむ程度の運動とバランスの良い食事を心がける事です。
2. 二つ目は**人との絆**を多く持って生きることです。人は孤独ほど辛いものは有りません。「喜びは分かち合うことに倍加し、悲しみは分かち合うことによって半減する」名言です。
3. 三つ目は**ご機嫌で生きる**ことです。前向き肯定的に生きている人は元気になるエンドロフィンやドーパミンが活性化して素敵な笑顔になり、豊かな人間関係が構築されます。
4. 四つ目は**学問を生涯続ける**ことです。学ぶことによって知識が豊富になり思考力が身につく様々な人の考え方を受け止めることが出来るようになります。「学ぶとは自分の

心に誠実さを身につけること、教えるとは共に生きる喜びを語ること」素敵な格言です。**笑涯楽習**を心掛けましょう!
5. 最後はある程度の**経済力**を備えておくことです。「貧すれば鈍す」という言葉がありますが貧しいと生きる意欲を喪失させます。

そして、日頃からユーモアセンスを身につけて人と笑い合うことが出来れば幸せな人生を過ごせるでしょう。「あなた幸せ、私も幸せ、二人合わせてハチアワセです。「一笑一若一怒一老」の言葉を忘れない**光輝幸齢者**を目指しましょう。



「東京から新潟へ…」



株式会社ヒト・コミュニケーションズ 新潟支店
コーディネーター
高木 愛 Manami Takagi

新潟で迎える3回目の冬。毎朝歩いて通勤していると、満員電車で揺られ通勤していた2年前までの東京の生活が時々懐かしく感じます。私も、株式会社ヒト・コミュニケーションズは、人材サービスの提供によりお取引先様の営業支援を行う企業です。私はお取引先様からの要望と求職者の方のマッチングをさせる【コーディネーター】と

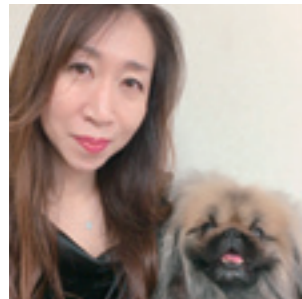
いう仕事をしています。北海道から沖縄まで全国に拠点があるヒトコムですが、まさか自分が24年も過ごした東京から離れるとは思っていませんでした。2017年、人事部長との面談で、「高木さん、もし人事異動が出たらどう?例えば新潟とか。」と聞かれた際に、「新潟ですか?縁もゆかりもない場所ですが辞令が出ればどこへでも行きます!」と元気に答えたことを鮮明に覚えています。後日、実際に人事発令があり私の名前が新潟支店にあるのを見た際には、面談での言葉とは裏腹に大泣きしていました。家族や友達がいらない新潟、同じコーディネーター業務を行う先輩や同期もいない新潟、そんな新潟で勤務をするのかという不安。そして新潟に居る自分の姿が想像できなかったからです。実際に新潟に来てから半年程は自分の業務効率の悪さに苦しみ、いかに東京で先輩に頼っていたのかを痛感しました。それでも新潟に来て強く思ったことは、どんなに慣れない環境下でも必ず周りのメンバーが助けてくれること。自身のスキルアップに繋がること。そして慣れた環境から離れる

ことは決してマイナスではなく、多くの経験と成長が出来るチャンスでありプラスであるということです。自分自身がこれからどのような環境で働いているかは分かりませんが、残りの新潟生活を存分に楽しみながら精進して参ります!



ゆーたいむす

「リリーフさんって警備会社だったの!」



リリーフセキュリティ(株)
代表取締役社長
渡邊 亜美 Ami Watanabe

写真と一緒に写っているペキニーズ犬が我が社のイメージキャラクター「ディノ」私の愛犬です。彼との絆は強く、数年前に引退させるまでJKC主催の「チャンピオンシップドッグショー」に全国の開催地まで出向き、ショードッグとハンドラーとしてパドックと一緒にウオーキングしたりカッコよくポーズを取ったりしながら楽しんでおりました。人間界でいうとこ

ろの犬界の「ミスコン」のようなものでしょうか。そういった趣味の世界でご縁が生まれ、イメージキャラクターを描き、誕生させてくれたのが故山本容子画伯でした。犬を描かせたら日本一という先生でした。このキャラクターも会社パンフレット1枚を見ただけで描き上げたそうです。お亡くなりになるまで温かな交流は続き、社員数名と諏訪湖付近のご自宅で宿泊させていただいたり、思い出は尽きません。キャラクターのブルドッグは容子先生の愛犬「ホックン」です。ホックンは様々な形で大活躍してくれていて、新潟駅万代口改札前や万代シティなどの設置看板で登場しています。題名の理由はホックンとディノの活躍が目立つからだと思われ(笑)
警備の仕事は夏は暑く、冬は寒い中、装備が多い制服を着用しながらのお仕事です。正直辛く感じる日もあるでしょうが、専務(主人です)がスタイリッシュな制服を考案したり、天候の影響に対して様々な工夫をしたりと、小さな企業努力を重ねることで「警備の仕事、カッコいいし、辛くない!」と社員全員

に思ってもらえるような整備会社でありたいです。来年は創立20周年を迎えます。創業時から支えてくださっているお客さまをはじめ、全てのお取引に感謝しながら、皆様のご安全の為に尽力致し「警備のことならリリーフセキュリティ!」と覚えていただける会社でありたいと願います。



「伝統工芸を今に」



九谷焼
北村 和義 Kazuyoshi Kitamura

九谷焼の窯元に生まれ、45年たちました。高校出るまでは九谷焼に触れたこともなければ、興味も無かった。ただ絵を描くのがなぜか好きだったので何気なく地元の美術系の大学に進み、初めて自分で焼いた九谷焼を見て「私にも九谷焼が作れた!」と驚いたと同時にその色の綺麗さに一瞬にして心を奪われました。卒業し23歳で家業につき今も窯からあがる度に九谷焼の綺麗さに感動して

います。普段の九谷焼の仕事以外に、様々な企業コラボや壺や皿の概念にとらわれない色絵磁器を製作しています。九谷焼の昆虫シリーズなどはカブトムシ・トンボ・チョウ・セミ・バッタ・カマキリと製作してきました。焼物では表現しきれない繊細な足や触覚・体は石川県の隣の富山県の高岡銅器で製作しリアルな昆虫達を再現しながらも九谷焼の緻密な技で描き「これが九谷焼なの!」と驚いて見る方が多いです。またユニクロやコムサなどのアパレルメーカーとのコラボ作品。リーガルとコラボして九谷焼の靴を製作したり、玩具メーカーのタカラミーやガンダム・エヴァンゲリオン・ドラえもんなどなど様々なコラボ作品も製作・発表してきました。どのコラボにしても共通していることは日本の企業であることだと思います。そして世界にメイドインジャパンを打ち出したい時に、日本を演出出来る分かりやすい工芸の一つが九谷焼なのかもしれません。伝統工芸を学び伝統技法を受け継ぐには、常に今の生活に合った物造りをしていかないといけない。和室がない、飾り棚がない、

床がない、今はそんな住宅環境がほとんどだと思います。大きな壺や飾り皿を飾れる所がないのが当たり前になった今、テレビの横に飾れる、壁に掛けられる、リビングに置く、そんな九谷焼を提案し発表していくこと、そして様々な企業コラボしていくことにより九谷焼を知らない世代にもアピールしていくことがこれからの伝統工芸が生き残っていく上で大切なことなのだと思います。



2019年度の主な支部活動報告

・関係機関や会員の皆様からご協力をいただき以下の活動を展開してきました。

公共工事の諸課題に関する意見交換会

開催日/2019年6月10日(月)
会場/ホテルオークラ新潟
内容/ゆう66号2019.7月発行に内容を掲載

北陸支部定時総会

開催日/2019年6月10日(月)
会場/ホテルオークラ新潟
内容/ゆう66号2019.7月発行に内容を掲載

親子工事見学会

実施日/長岡班 2019年7月29日(月)
見学場所/鶴川ダム本体建設工事・国道8号柏崎トンネル(山岳部)工事
実施日/新潟班 2019年7月30日(火)
見学場所/新潟駅付近連続立体交差事業・坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事
内容/建設業の社会的使命や社会資本整備の必要性を広く知っていただくために、夏休み期間中に小学校高学年の児童とその保護者の方を対象に、見学会を実施しました。
本誌P8・9に掲載

北陸電力への本部役員挨拶

開催日/2019年8月2日(金)
内容/土木本部長をはじめ土木本部役員と支部長により、北陸電力への挨拶を行い、代表取締役会長、社長のご出席をいただき情報交換を行いました。

市民現場見学会

開催日/富山・石川地区 2019年7月22日(月)
見学場所/H29-32金沢東環月浦トンネル工事・梯川橋りょう他工事 金沢大学 学生対象
開催日/新潟地区 2019年9月17日(火)
見学場所/坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事・鶴川ダム本体建設工事 土木学会関東支部新潟会との共催
本誌P10・11に掲載

東日本高速道路(株)新潟支社との意見交換会

開催日/2019年9月19日(木)
会場/白山会館
内容/ホームページに掲載

中日本高速道路(株)金沢支社との意見交換会

開催日/2019年10月7日(月)
会場/白山会館
内容/ホームページに掲載

安全パトロール・現場点検 (9月～10月)

内容/安全環境対策委員会(安全分科会)で新潟、石川の現場パトロール。事故防止対策委員会でも支部合同で火薬類・交通安全・公害防止など点検を行いました。また支部単独でも点検を行いました。



けんせつフェア北陸in富山・建設技術報告会 同時開催

開催日/2019年10月2日(水)・3日(木) 会場/富山産業展示館(テクノホール) 内容/本誌P3に掲載

「土木の日」記念講演会

開催日/2019年11月20日(水)
会場/日報メディアシップ
内容/「NEXCO東日本新潟支社におけるリニューアルプロジェクトについて」の講演とコラムニスト深沢真紀さんの「若者や女性が働き続けたい職場とは」と題して記念講演会を土木学会新潟会と共催で開催しました。



新潟市議会政策研究会との意見交換会

開催日/2019年11月25日(月)
会場/新潟市役所

労働災害防止安全推進大会

開催日/2019年11月29日(金)
会場/新潟グランドホテル
内容/会員会社の建設現場における更なる安全意識の高揚と労働災害撲滅に向け決意を新たにしました。

新潟労働局と安全環境対策委員会との意見交換会

開催日/2019年12月4日(水)
会場/興和ビル
内容/ホームページに掲載

現場代理人等との意見交換会

開催日/2019年12月11日(水)
会場/白山会館
内容/ホームページに掲載予定

事故防止に関する講習会

開催日/2020年1月21日(火) 内容/建設工事の産業廃棄物等の処理についての講習会を開催しました。
開催日/2020年2月13日(木) 内容/地下埋設物事故防止についての講習会を開催しました。
開催日/2020年2月27日(木) 内容/建設工事の交通事故防止についての講習会開催予定
会場/新潟県建設会館

新潟県との意見交換会

開催日/2020年2月6日(木) 会場/白山会館 内容/ホームページに掲載予定

鉄道建設工事の諸課題に関する意見交換会

鉄道運輸機構鉄道建設本部大阪支社との意見交換会
開催日/2020年2月4日(火) 関西支部と合同 会場/鉄道運輸機構 大阪支社 会議室

JR東日本上信越工事事務所との意見交換会

開催日/2020年2月19日(水) 会場/白山会館

北陸地方整備局との意見交換会

開催日/2020年3月9日(月) 開催予定
会場/白山会館
内容/ホームページに掲載予定

運営会議

開催日/2020年3月10日(火) 開催予定
会場/興和ビル

北陸地方整備局企画部と安全環境対策委員会との情報交換会

開催日/2020年3月12日(木) 開催予定
会場/興和ビル
内容/次号掲載予定

講演会

開催日/2020年3月10日(火) 開催予定
講師/北陸地方整備局
演題/最近の北陸地方整備局の取組みについて(仮題)

BACK STAGE 編集後記

2020.2

67

2019年は平成から令和へと元号が変わり、ゴールデンウィークからかなり気温が高く夏は梅雨明けが遅れ、7月中は日照不足や低温に見舞われた一方、梅雨明け後は猛烈な暑さと厳しい残暑が続くなど、天候が極端な夏となり熱中症予防対策が急務となりました。

害に見舞われた地域が数多く、被災された方々にはお見舞い申し上げますと共に今後このような災害が起きないよう国や地方の防災・減災対策に期待し、一人一人が日頃から防災訓練等に心掛け、危機意識を持ちながら安心・安全な日常生活を送れますよう祈念致します。

また、相次ぐ台風の襲来で風水害の被害 (小林 恵一 記)

広報委員会スタッフ

委員長 細貝 隆司(五洋建設)
副委員長 岡崎 豊彦(熊谷組)
委員
久保 茂樹(安藤・間) 石附 裕(植木組)
稲田 克彦(大林組) 濱 一男(大本組)
垣内 俊彦(鹿島建設) 山崎 和宣(五洋建設)
小川 晃市(清水建設) 小林 恵一(銭高組)
迎田 秀樹(第一建設工業) 岩佐 一郎(大成建設)
小嶋 洋一(東亜建設工業) 津川 圭一(フジタ)
森田 浩二(前田建設工業) 工藤 悟(若築建設)
事務局長 本間千代吉(日本建設業連合会北陸支部)